

# 一般演題 (口演)

■日時：12月3日(水) 15:20～16:00

■会場：第7会場(大阪国際会議場  
10F 1008)

## O18 社会：疫学

座長 中瀬克己

(岡山大学 医療教育総合開発センター)

井戸田一郎

(しらかば診療所)

O18-097 Estimate of HIV prevalence in Japan

Nishiura Hiroshi

Graduate School of Medicine, The University of  
Tokyo

O18-098 梅毒はどのくらい増えているのか？

井戸田一郎

しらかば診療所

O18-099 WB法HIV抗体確認検査陽性数による全国  
のHIV診断動向

中瀬克己<sup>1)</sup>、川畑拓也<sup>2)</sup>、中谷友樹<sup>3)</sup>、  
山岸拓也<sup>4)</sup>、尾本由美子<sup>5)</sup>、神谷信行<sup>6)</sup>、  
杉下由行<sup>6)</sup>、高野つる代<sup>7)</sup>

- 1) 岡山大学医療教育総合開発センター
- 2) 大阪府立公衆衛生研究所
- 3) 立命館大学文学部
- 4) 国立感染症研究所
- 5) 豊島区保健所
- 6) 東京都健康安全センター
- 7) 横浜市磯子区福祉保健センター

O18-100 慶應義塾大学病院におけるHIV-1複合感染  
(dual infection) の検討

藤原 宏<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>2)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>、  
親泊あいみ<sup>2)</sup>、上菱義典<sup>1)</sup>、南宮 湖<sup>3)</sup>、  
小谷 宙<sup>4)</sup>、戸蒔祐子<sup>5)</sup>、長谷川直樹<sup>1)</sup>、  
岩田 敏<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 3) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科
- 4) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 5) 慶應義塾大学病院看護部

■日時：12月4日(木) 9:00～10:00

■会場：第2会場(大阪国際会議場  
10F 1001)

## O19 臨床：悪性腫瘍

座長 鯉淵智彦

(東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科)

四本美保子

(東京医科大学 臨床検査医学分野)

O19-101 HHV-8関連キャスルマン病患者に  
おける低Na血症に関する後方視的解析

今井一男、前田卓哉、原 悠、佐々木裕明、  
藤倉雄二、長 盛親、三木田馨、三沢和央、  
叶宗一郎、川名明彦

防衛医科大学校内科学(感染症・呼吸器)

O19-102 HIV感染悪性腫瘍患者の終末期医療での  
心理職の関わりについて：現状と課題  
～国内アンケート調査と聞き取り調査を  
もとに～

矢永由里子<sup>1)</sup>、小島勇貴<sup>2)</sup>、永井宏和<sup>3)</sup>、  
岩崎奈美<sup>3)</sup>、加藤真樹子<sup>4)</sup>、味澤 篤<sup>5)</sup>、  
田沼順子<sup>6)</sup>、萩原将太郎<sup>7)</sup>、上平朝子<sup>8)</sup>、  
岡田誠治<sup>9)</sup>

- 1) 慶應義塾大学感染制御センター
- 2) 名古屋大学
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター
- 4) 鶴見病院
- 5) 豊島病院
- 6) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 7) 国立国際医療研究センター
- 8) 国立病院機構大阪医療センター
- 9) 熊本大学エイズ学研究センター

O19-103 リツキシマブと副腎皮質ステロイドに  
より一時的に病勢コントロールが可能で  
あったAIDS関連リンパ腫に伴う血球貪  
食症候群の一例

小山田亮祐<sup>1)</sup>、熊本忠史<sup>1)</sup>、古川恵一<sup>2)</sup>、  
森慎一郎<sup>1)</sup>

- 1) 聖路加国際病院血液腫瘍科
- 2) 聖路加国際病院感染症科

# 一般演題 (口演)

## O19-104 血清HHV-8陽性、血清hIL-6上昇を伴う全身性リンパ節腫脹を呈し、抗HIV療法にて改善を認めたHIV感染者の1例

錦 信吾<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

## O19-105 非エイズ指標悪性腫瘍の臨床的検討

四本美保子、大谷眞智子、上久保淑子、一木昭人、備後真登、村松 崇、清田育男、大瀧 学、萩原 剛、鈴木 隆、天野景裕、山元泰之、福武勝幸

東京医科大学病院 臨床検査医学科

## O19-106 腹水を契機に診断された形質芽球性リンパ腫の1例

田頭保彰<sup>1,2)</sup>、佐々木秀悟<sup>3)</sup>、関谷紀貴<sup>3)</sup>、柳澤如樹<sup>2)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>、今村顕史<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>4)</sup>

- 1) 東京都立多摩総合医療センター 感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床微生物科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院

## O20-108 わが国におけるHIV感染妊娠857例の臨床的疫学的検討

喜多恒和<sup>1,2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>1,2)</sup>、藤田 綾<sup>1,2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、松田秀雄<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、佐久本薫<sup>2)</sup>、太田 寛<sup>2)</sup>、石橋理子<sup>1,2)</sup>、大島教子<sup>2)</sup>、明城光三<sup>2)</sup>、戸谷良造<sup>2)</sup>、稲葉憲之<sup>2)</sup>、和田裕一<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県総合医療センター産婦人科
- 2) 厚生省科研費エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

## O20-109 HIV感染妊婦診療における周産期母子医療センターの役割

明城光三<sup>1)</sup>、大沢昌二<sup>1)</sup>、鈴木智子<sup>1)</sup>、蓮尾泰之<sup>2)</sup>、五味渕秀人<sup>3)</sup>、林 公一<sup>4)</sup>、谷口晴記<sup>5)</sup>、喜多恒和<sup>6)</sup>、外川正生<sup>7)</sup>、吉野直人<sup>8)</sup>、大島教子<sup>9)</sup>、稲葉憲之<sup>9)</sup>、和田裕一<sup>1)</sup>、塚原優己<sup>10)</sup>

- 1) 国立病院機構仙台医療センター
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 河北総合病院
- 4) 国立病院機構 関門医療センター
- 5) 三重県立総合医療センター
- 6) 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター
- 7) 大阪市立総合医療センター
- 8) 岩手医科大学
- 9) 獨協医科大学
- 10) 国立成育医療研究センター

## O20-110 HIV陽性妊婦から出生した児の知能発達検査および頭部MRIにおける経時的変化の検討

松浦 潤<sup>1)</sup>、細川真一<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>1)</sup>、木内 英<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、松下竹次<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 国立国際医療研究センター新生児内科
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

## O20-111 成人と新生児におけるAZTリン酸化物細胞内濃度の比較

木内 英<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>、細川真一<sup>3)</sup>、田中瑞恵<sup>3)</sup>、中西美紗緒<sup>4)</sup>、定月みゆき<sup>4)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、矢野 哲<sup>4)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 慶応義塾大学医学部 微生物・免疫学教室
- 3) 国立国際医療研究センター 小児科
- 4) 国立国際医療研究センター 産婦人科

■日時：12月4日(木) 10:10～11:00

■会場：第2会場(大阪国際会議場 10F 1001)

### O20 臨床：母子感染1

座長 喜多恒和

(奈良県総合医療センター 周産期母子医療センター)

外川正生

(大阪市立総合医療センター 小児医療センター)

## O20-107 最近5年間のHIV感染妊娠とその背景に関する検討

杉浦 敦<sup>1,2)</sup>、喜多恒和<sup>1,2)</sup>、藤田 綾<sup>1,2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県総合医療センター
- 2) 厚生省科研費エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

# 一般演題 (口演)

■日時：12月4日(木) 11:20～12:10

■会場：第2会場(大阪国際会議場  
10F 1001)

## O21 臨床：母子感染2・生活習慣病3

座長 松浦基夫

(市立堺病院 腎代謝免疫内科)

堀場昌英

(国立病院機構 東埼玉病院)

O21-112 外国人の父親をもつHIV患児の服薬開始に至るまでの経緯—父親の文化・生活背景より薬に対する考え方の相互理解への介入—

高木雅敏、塘田貴代美

熊本大学医学部附属病院

O21-113 HIV陽性女性とHIV陰性男性の夫婦における体外受精・胚移植による妊娠出産例

松浦基夫<sup>1)</sup>、三田洋子<sup>2)</sup>、住田るみ<sup>2)</sup>、那波みゆき<sup>3)</sup>、宇高 歩<sup>3)</sup>、齊藤孝子<sup>4)</sup>、縦木和美<sup>5)</sup>、森 治代<sup>6)</sup>、川畑拓也<sup>6)</sup>、小島洋子<sup>6)</sup>

- 1) 市立堺病院腎代謝免疫内科
- 2) 市立堺病院看護部
- 3) 市立堺病院薬剤科
- 4) 市立堺病院臨床検査技術科
- 5) 市立堺病院医療相談室
- 6) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課

O21-114 HIV感染症における女性症例の動向と経過についての検討

堀場昌英<sup>1)</sup>、廣瀬友城<sup>1)</sup>、森田暁壮<sup>1)</sup>、増田貴史<sup>1)</sup>、中野滋文<sup>1)</sup>、諸井文子<sup>1)</sup>、桑田加奈子<sup>2)</sup>、鈴木清美<sup>2)</sup>、人見公代<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構 東埼玉病院 呼吸器科
- 2) 国立病院機構 東埼玉病院 看護部

O21-115 地域病院でのHIV診療におけるテノホビル/エムトリシタビン(TDF/FTC)の腎機能への影響

林 寛子<sup>1)</sup>、石原正志<sup>1,2)</sup>、渡邊珠代<sup>2)</sup>、鶴見広美<sup>2)</sup>、山口公大<sup>3)</sup>、後藤尚絵<sup>3)</sup>、馬淵量子<sup>3)</sup>、伊藤善規<sup>1)</sup>、鶴見 寿<sup>2,3)</sup>

- 1) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院血液内科

O21-116 ハノイの腎機能障害を有するHIV感染者におけるテノホビル使用による腎機能予後

水島大輔<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、Nguyen Kinh<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター
- 3) National Hospital of Tropical Diseases

■日時：12月4日(木) 16:50～17:40

■会場：第2会場(大阪国際会議場  
10F 1001)

## O22 臨床：生活習慣病2

座長 古賀一郎

(帝京大学 医学部 内科学講座)

柳澤如樹

(がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)

O22-117 cART開始前のHIV感染症患者における骨密度低下の頻度と臨床マーカーの解析

古賀一郎、妹尾和憲、若林義賢、吉野友祐、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

O22-118 ART導入による骨代謝マーカーの推移

高濱宗一郎、郭 悠、中嶋恵理子、南 留美、長與由紀子、城崎真弓、山本政弘

国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症科

O22-119 プロテアーゼ阻害薬の骨密度低下メカニズムに関する研究

木内 英、瀧永博之、水島大輔、西島 健、渡辺恒二、青木孝弘、矢崎博久、本田元人、田沼順子、源河いくみ、塚田訓久、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

O22-120 当院におけるHIV感染者の慢性腎臓病の有病率および腎機能の経時的変化の検討

遠藤知之<sup>1)</sup>、吉田美穂<sup>1,2)</sup>、竹村 龍<sup>1,2)</sup>、渡部恵子<sup>3)</sup>、坂本玲子<sup>2)</sup>、武内阿味<sup>2)</sup>、杉田純一<sup>1)</sup>、重松明男<sup>1)</sup>、小野澤真弘<sup>1)</sup>、藤本勝也<sup>1)</sup>、近藤 健<sup>1)</sup>、橋野 聡<sup>4)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1)</sup>

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) エイズ予防財団
- 3) 北海道大学病院看護部
- 4) 北海道大学保健センター

# 一般演題 (口演)

## O22-121 本邦における維持透析患者のHIV感染有病率 —維持透析患者受け入れ施設を対象とした全国アンケート調査に基づく報告—

柳澤如樹<sup>1,3)</sup>、安藤 稔<sup>2,3)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、  
今村顕史<sup>1)</sup>、土谷 健<sup>3)</sup>、新田孝作<sup>3)</sup>、  
味澤 篤<sup>1,4)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院 腎臓内科
- 3) 東京女子医科大学病院 第四内科
- 4) 東京都保健医療公社 豊島病院

■日時：12月4日(木) 9:00～10:00

■会場：第3会場(大阪国際会議場  
10F 1002)

### O23 臨床：生活習慣病1

座長 上平朝子

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

古西 満

(奈良県立医科大学健康管理センター)

## O23-122 HIV陽性男性患者のメタボリックシンドロームと食事摂取の実態調査

加藤久美子<sup>1)</sup>、永田真基<sup>1)</sup>、豊島裕子<sup>4)</sup>、  
松本美由紀<sup>4)</sup>、後藤哲志<sup>2)</sup>、笠松 悠<sup>2)</sup>、  
市田裕之<sup>3)</sup>、白野倫徳<sup>2)</sup>

- 1) 大阪市立大学生活科学部食品栄養科学科
- 2) 大阪市立総合医療センター 感染症センター
- 3) 大阪市立総合医療センター 薬剤部
- 4) 大阪市立総合医療センター 看護部

## O23-123 HIV感染者における経時的動脈脈波速度測定 of 検討

宇野健司<sup>1)</sup>、古西 満<sup>1,2)</sup>、笠原 敬<sup>1)</sup>、  
今北菜津子<sup>1)</sup>、今井雄一郎<sup>1)</sup>、  
中村(内山) ふうみ<sup>1)</sup>、米川真輔<sup>1)</sup>、  
梶田明裕<sup>1)</sup>、前田光一<sup>1)</sup>、谷口美苗<sup>3)</sup>、  
治田匡平<sup>4)</sup>、赤澤紫乃<sup>4)</sup>、青井博志<sup>4)</sup>、  
善本英一郎<sup>1,5)</sup>、三笠桂一<sup>1)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学 感染症センター
- 2) 奈良県立医科大学 健康管理センター
- 3) 奈良県立医科大学附属病院 看護部
- 4) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部
- 5) 奈良厚生会病院 感染制御室

## O23-124 HIV感染者における新たな慢性炎症マーカーと動脈硬化症

本田元人<sup>1)</sup>、遠藤元誉<sup>2)</sup>、古川恵太郎<sup>1)</sup>、  
柴田 怜<sup>1)</sup>、谷崎隆太郎<sup>1)</sup>、柳川泰昭<sup>1)</sup>、  
小林泰一郎<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、  
青木孝弘<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、  
矢崎博久<sup>3)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、  
潟永博之<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、  
尾池雄一<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部分子遺伝学分野
- 3) 国立国際医療研究センター 国府台病院

## O23-125 HIV感染者における白血球テロメア長測定の意義—慢性脳虚血性変化との関連

南 留美、小松真梨子、高濱宗一郎、  
郭 悠、辻麻理子、阪木淳子、曾我真千代、  
城崎真弓、長与由紀子、中嶋恵理子、  
山本政弘

国立病院機構九州医療センター  
AIDS/HIV総合治療センター・臨床研究センター

## O23-126 HIV感染者を対象とした定量的超音波骨量測定(QUS)を用いた評価

古西 満<sup>1,2)</sup>、宇野健司<sup>2)</sup>、善本英一郎<sup>2,3)</sup>、  
治田匡平<sup>4)</sup>、赤澤紫乃<sup>4)</sup>、青井博志<sup>4)</sup>、  
谷口美苗<sup>5)</sup>、梶田明裕<sup>2)</sup>、今北菜津子<sup>2)</sup>、  
今井雄一郎<sup>2)</sup>、米川真輔<sup>2)</sup>、笠原 敬<sup>2)</sup>、  
中村(内山) ふうみ<sup>2)</sup>、前田光一<sup>2)</sup>、  
三笠桂一<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
- 2) 奈良県立医科大学感染症センター
- 3) 奈良厚生会病院感染制御室
- 4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 5) 奈良県立医科大学附属病院看護部

## O23-127 HIV感染者の骨密度・骨代謝関連マーカーに関する調査

村松 崇、山元泰之、一木昭人、近澤悠志、  
備後真登、清田育男、四本美保子、大瀧 学、  
萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

# 一般演題 (口演)

■日時：12月4日(木) 10:10～11:10

■会場：第3会場(大阪国際会議場  
10F 1002)

## O24 臨床：症例1

座長 矢嶋敬史郎

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

塚田訓久

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

O24-128 ART開始直後に血球貪食症候群を引き起こした1例

弓場達也<sup>1)</sup>、藤野貴大<sup>3)</sup>、大城宗生<sup>3)</sup>、  
大野聖子<sup>2)</sup>

- 1) 京都第一赤十字病院呼吸器内科
- 2) 京都第一赤十字病院 感染制御部
- 3) 京都第一赤十字病院 血液内科

O24-129 脳生検でCD8陽性細胞の浸潤を認めたHIV感染者の1例

廣田和之<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>、沖田典子<sup>2)</sup>、  
児玉良典<sup>3)</sup>、伊熊素子<sup>1)</sup>、小川吉彦<sup>1)</sup>、  
矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、笠井大介<sup>1)</sup>、西田恭治<sup>1)</sup>、  
上平朝子<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科
- 2) 国立病院機構 大阪医療センター 脳神経外科
- 3) 国立病院機構 大阪医療センター 臨床検査科

O24-130 リルピビリン服用後に著明な精神症状を呈し、血中濃度測定をおこなった症例

森本清香<sup>1)</sup>、西野 隆<sup>1)</sup>、大石裕樹<sup>1)</sup>、  
阪木淳子<sup>2)</sup>、高濱宗一郎<sup>2,3)</sup>、郭 悠<sup>2,3)</sup>、  
南 留美<sup>2,3)</sup>、山本政弘<sup>2,3)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター薬剤科
- 2) 九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 3) 九州医療センター免疫感染症科

O24-131 肺門・縦隔リンパ腫脹の縮小を画像上、観察し得たMACによる免疫再構築症候群の一例

南宮 湖<sup>1)</sup>、藤原 宏<sup>2)</sup>、西松直美<sup>3)</sup>、  
小谷 宙<sup>3)</sup>、戸蒔祐子<sup>4)</sup>、加藤真吾<sup>5)</sup>、  
岩田 敏<sup>6)</sup>、長谷川直樹<sup>2)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 4) 慶應義塾大学病院看護部
- 5) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 6) 慶應義塾大学医学部感染症学教室

O24-132 Sulfadiazineによる尿路結石で急性腎機能障害を発症したトキノプラズマ脳炎の1例

阪本直也、小林謙一郎、岩淵千太郎、  
大西健児

東京都立墨東病院

O24-133 多彩な合併症を呈したCryptococcus髄膜炎の二症例

比嘉令子、上田敦久、寒川 整、仲野寛人、  
筑丸 寛、石ヶ坪良明

横浜市立大学附属病院 リウマチ血液感染症内科

■日時：12月4日(木) 11:20～12:10

■会場：第3会場(大阪国際会議場  
10F 1002)

## O25 社会：カウンセリング1

座長 安尾利彦

(大阪医療センター 臨床心理室)

高田知恵子

(秋田大学)

O25-134 中核相談事業の現状と課題 その1  
—メールアンケートから見たこと—

高田知恵子<sup>1)</sup>、嶋 篤子<sup>2)</sup>、平塚信子<sup>3)</sup>、  
加藤朋子<sup>4)</sup>、長浦由紀<sup>5)</sup>、高橋義博<sup>6)</sup>、  
塚本琢也<sup>7)</sup>、梅澤有美子<sup>8)</sup>、山中京子<sup>9)</sup>

- 1) 秋田大学
- 2) 滋賀医科大学附属病院
- 3) 滋賀県健康福祉部
- 4) 金沢市福祉健康センター
- 5) 長崎大学病院
- 6) 大館市立総合病院
- 7) 仙台医療センター
- 8) 福井大学
- 9) 大阪府立大学

O25-135 中核相談事業の現状と課題 その2  
—中核相談員への電話インタビューから  
見えてきたこと—

嶋 篤子<sup>1)</sup>、高田知恵子<sup>2)</sup>、平塚信子<sup>3)</sup>、  
加藤朋子<sup>4)</sup>、長浦由紀<sup>5)</sup>、高橋義博<sup>6)</sup>、  
塚本琢也<sup>7)</sup>、梅澤有美子<sup>8)</sup>、山中京子<sup>9)</sup>

- 1) 滋賀医科大学附属病院
- 2) 秋田大学
- 3) 滋賀県健康医療福祉部
- 4) 金沢市福祉健康センター
- 5) 長崎大学病院
- 6) 大館市立総合病院
- 7) 仙台医療センター
- 8) 福井大学
- 9) 大阪府立大学

# 一般演題 (口演)

## O25-136 HIV感染症患者における自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder ; ASD) 傾向の検討

松岡亜由子<sup>1)</sup>、石原真理<sup>1)</sup>、森 祐子<sup>1,2)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター  
エイズ治療開発センター  
2) (公財) エイズ予防財団

## O25-137 HIV陽性者における内的自己・外的自己の意識化について

鍛冶まどか<sup>1,2)</sup>、仲倉高広<sup>1)</sup>、下司有加<sup>1)</sup>、東 政美<sup>1)</sup>、鈴木成子<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター  
2) 公益財団法人エイズ予防財団

## O25-138 血友病でHIV感染症をもつ青年期男性の心理療法について～生き続けることを支える～

仲倉高広<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>

1) 大阪医療センター臨床心理室  
2) 大阪医療センター感染症内科  
3) 大阪医療センター

■日時：12月4日(木) 16:50～17:40

■会場：第3会場(大阪国際会議場  
10F 1002)

## O26 社会：カウンセリング2

座長 山中京子

(大阪府立大学 地域保健学域)

仲倉高広

(大阪医療センター 臨床心理室)

## O26-139 当院のHIV感染者における適応障害患者のHIV治療状況とカウンセリング介入についての検討

渡邊愛祈<sup>1,2)</sup>、仲里 愛<sup>1,2)</sup>、小松賢亮<sup>1,2)</sup>、高橋卓巳<sup>3)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、加藤 温<sup>3)</sup>、関由賀子<sup>3)</sup>、今井公文<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター  
2) エイズ予防財団  
3) 国立国際医療研究センター 精神科

## O26-140 ブロック拠点病院などでの心理検査の実施に関する研究

山中京子<sup>1)</sup>、辻麻理子<sup>2)</sup>、阪木淳子<sup>2,11)</sup>、松岡亜由子<sup>3)</sup>、塚本琢也<sup>4,11)</sup>、大川満生<sup>5)</sup>、早津正博<sup>9)</sup>、小松賢亮<sup>6)</sup>、渡邊愛祈<sup>6)</sup>、仲里 愛<sup>6)</sup>、北志保里<sup>7,11)</sup>、鍛冶まどか<sup>10,11)</sup>、仲倉高広<sup>10)</sup>、喜花伸子<sup>8,11)</sup>

1) 大阪府立大学  
2) 九州医療センター  
3) 名古屋医療センター  
4) 仙台医療センター  
5) 北海道大学病院  
6) 国立国際医療研究センター病院  
7) 石川県立中央病院  
8) 広島大学病院  
9) 新潟大学医歯学総合病院  
10) 大阪医療センター  
11) エイズ予防財団

## O26-141 HIV感染者のターミナルケア—HIV治療に消極的な感染者との心理面接—

小松賢亮<sup>1,2)</sup>、仲里 愛<sup>1,2)</sup>、渡邊愛祈<sup>1,2)</sup>、塩田ひとみ<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、矢崎博久<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療研究・開発センター  
2) エイズ予防財団 リサーチレジデント

## O26-142 HIV医療におけるカウンセリング機能の明確化の試み—仮想事例に対する援助方法に関する記述分析から—

安尾利彦<sup>1)</sup>、仲倉高広<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>、山中京子<sup>3)</sup>

1) 大阪医療センター臨床心理室  
2) 大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター  
3) 大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類

## O26-143 HIV医療における「心の整理法」の有用性と導入時の留意点についての検討

宮本哲雄<sup>1,2)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター  
2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

# 一般演題 (口演)

■日時：12月4日(木) 16:40～17:40

■会場：第4会場(大阪国際会議場  
10F 1009)

## O27 臨床：看護2

座長 大金美和

(独立行政法人国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療・研究開発センター)

宮城京子

(琉球大学医学部附属病院)

### O27-144 HIV陽性者の慢性疾患、自覚症状及び睡眠状況に関する調査研究

山内麻江<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>2)</sup>、  
高久陽介<sup>3,4)</sup>、矢島 嵩<sup>3,5)</sup>、板垣貴志<sup>6)</sup>、  
阿部桜子<sup>7)</sup>、細川陸也<sup>8)</sup>、吉澤繁行<sup>9)</sup>、  
大木幸子<sup>10)</sup>、若林チヒロ<sup>11)</sup>、片倉直子<sup>12)</sup>

- 1) 東京医科大学看護専門学校
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 株式会社アクセライト
- 7) NTT docomo
- 8) 名古屋市立大学
- 9) ANGEL LIFE NAGOYA
- 10) 杏林大学
- 11) 埼玉県立大学
- 12) 神戸市看護大学

### O27-145 ACCに通院中の高齢HIV感染者の現状

杉野祐子、池田和子、大金美和、伊藤 紅、  
小山美紀、塩田ひとみ、木下真里、  
中家奈緒美、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター

### O27-146 知的能力障害を有するHIV患者への療養支援一周年にHIV感染を告知しないことを選択した一事例

木下一枝<sup>1)</sup>、喜花伸子<sup>2)</sup>、塚本弥生<sup>3)</sup>、  
齊藤誠司<sup>2,5)</sup>、小川良子<sup>2)</sup>、藤井健司<sup>4)</sup>、  
畝井浩子<sup>4)</sup>、山崎尚也<sup>2,5)</sup>、藤井輝久<sup>2,5)</sup>、  
高田 昇<sup>6)</sup>

- 1) 広島大学病院看護部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院精神科
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 広島大学病院輸血部
- 6) 広島文化学園大学看護学部

### O27-147 知的障害者のHIV陽性患者に対し社会的支援を生かし服薬継続が可能となった1例

塚田真弓<sup>1)</sup>、吉澤定子<sup>1,2)</sup>、宮崎泰斗<sup>1,3)</sup>、  
前田 正<sup>3)</sup>、佐藤恵美<sup>1,4)</sup>、松田洋子<sup>4)</sup>、  
長谷川香菜子<sup>4)</sup>、平山 忍<sup>1,5)</sup>、田村清美<sup>1,4)</sup>、  
館田一博<sup>1,6)</sup>

- 1) 東邦大学医療センター大森病院 感染管理部
- 2) 総合診療・急病センター(感染症科)
- 3) 総合診療・急病センター(内科)
- 4) 看護部
- 5) 薬剤部
- 6) 東邦大学医学部 微生物・感染症学講座

### O27-148 HIV感染症と境界性人格障害を抱えた患者とその家族に対する看護支援～自傷行為を繰り返し、母と共依存関係にあった事例に協働プログラムを導入し実践した1例～

佐々木育子、佐々木直美、青野由紀子、  
常山純子

JA北海道帯広厚生病院内科外来

### O27-149 沖縄県における拠点病院看護師等・MSM当事者NGO合同研修会の試み

宮城京子<sup>1)</sup>、金城 健<sup>2)</sup>、生島 嗣<sup>3)</sup>、  
前田サオリ<sup>1)</sup>、石郷岡美穂<sup>1)</sup>、  
辺土名優美子<sup>1)</sup>、大城市子<sup>1)</sup>、翁長 薫<sup>4)</sup>、  
新江裕貴<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>4)</sup>、當山国江<sup>1)</sup>、  
健山正男<sup>4)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院
- 2) nankr 沖縄
- 3) ぶれいす東京
- 4) 琉球大学大学院・感染症・呼吸器・消化器内科学

■日時：12月4日(木) 9:00～10:00

■会場：第5会場(大阪国際会議場  
12F 特別会議場)

## O28 臨床：看護1

座長 島田 恵

(首都大学東京大学院 人間健康科学研究科)

鍵浦文子

(広島大学大学院 医歯薬保健学研究院)

### O28-150 HIV陽性者の二次感染予防に関する認識と行動

下司有加<sup>1,3)</sup>、多留ちえみ<sup>2)</sup>、長尾式子<sup>2)</sup>、  
白阪琢磨<sup>3)</sup>、宮脇郁子<sup>2)</sup>

- 1) 神戸大学大学院保健学研究科博士課程前期課程
- 2) 神戸大学大学院保健学研究科
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

## O28-151 性行動における予防介入の時期と方法の検討

前田サオリ<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>1)</sup>、健山正男<sup>2)</sup>、  
仲村秀太<sup>2)</sup>、比嘉 太<sup>2)</sup>、小橋川文江<sup>1)</sup>、  
新江裕貴<sup>3)</sup>、諸見牧子<sup>3)</sup>、石郷岡美穂<sup>4)</sup>、  
辺土名優美子<sup>5)</sup>、大城市子<sup>5)</sup>、下地孝子<sup>1)</sup>、  
藤田次郎<sup>2)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院 看護部
- 2) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・内科学講座
- 3) 同医学部附属病院薬劑部
- 4) 同大学医学部附属病院地域医療部
- 5) 沖縄県HIV派遣カウンセラー

## O28-152 HIV陽性者へのケア経験別・職種別にみた標準予防策の実施状況～第1報：入所施設の特徴～

九津見雅美<sup>1)</sup>、内海桃絵<sup>2)</sup>、池田和子<sup>3)</sup>、  
大金美和<sup>3)</sup>

- 1) 兵庫県立大学看護学部
- 2) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
- 3) 独立行政法人国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

## O28-153 HIV陽性者へのケア経験別・職種別にみた標準予防策の実施状況～第2報：在宅看護・介護の特徴～

内海桃絵<sup>1)</sup>、九津見雅美<sup>2)</sup>、池田和子<sup>3)</sup>、  
大金美和<sup>3)</sup>

- 1) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
- 2) 兵庫県立大学看護学部
- 3) 独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療・  
研究開発センター

## O28-154 HIV/AIDS外来受診患者の療養支援に関する実態調査

鈴木清美、猿渡加奈子、定方 泉、松嶋優希、  
竹内宏美、人見公代、大館ときゑ、堀場昌英

独立行政法人国立病院機構東埼玉病院

## O28-155 国立国際医療研究センター病院におけるHIV陽性者の入院状況に関する診療録調査

石井祥子<sup>1)</sup>、宮村麻理<sup>2)</sup>、小宮山優佳<sup>2)</sup>、  
鈴木節子<sup>2)</sup>、服部久恵<sup>2)</sup>、池田和子<sup>3)</sup>、  
照屋勝治<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>

- 1) (独) 国立国際医療研究センター病院  
感染症看護専門看護師
- 2) (独) 国立国際医療研究センター病院 12階東病棟
- 3) (独) 国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月4日(木) 17:10～17:40

■会場：第5会場(大阪国際会議場  
12F 特別会議場)

## O29 基礎：検査

座長 古田里佳

(日本赤十字社 近畿ブロック血液センター)

松岡佐織

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

## O29-156 新規に開発されたイムノクロマトグラフィ法による第4世代HIV迅速診断試薬の臨床的有用性の検討

土屋亮人、湯永博之、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発  
センター

## O29-157 第4世代HIV迅速診断試薬の性能評価

中桐逸博<sup>1)</sup>、徳永博俊<sup>2)</sup>、福田寛文<sup>2)</sup>、  
和田秀穂<sup>1,2)</sup>

- 1) 川崎医科大学附属病院輸血部
- 2) 川崎医科大学血液内科学

## O29-158 日本における20プールNAT導入後初めての輸血後HIV感染事例

篠原直也<sup>1)</sup>、蕎麦田理英子<sup>1)</sup>、松本千恵子<sup>1)</sup>、  
古居保美<sup>2)</sup>、内田茂治<sup>1)</sup>、五十嵐滋<sup>2)</sup>、  
日野 学<sup>2)</sup>、佐竹正博<sup>1)</sup>、田所憲治<sup>1)</sup>

- 1) 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所
- 2) 日本赤十字社血液事業本部



# 一般演題 (口演)

■日時：12月4日(木) 9:00～9:30

■会場：第6会場(大阪国際会議場  
12F 1202)

## O30 基礎：免疫

座長 高橋秀実

(日本医科大学 微生物学免疫学教室)

吉村和久

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

O30-159 ベトナムのHIV感染小児における腸内細菌の体内移行と免疫活性化

畢 袖晴<sup>1)</sup>、石崎有澄美<sup>1)</sup>、  
Nguyen Lam Van<sup>2)</sup>、松田一乗<sup>3)</sup>、  
Pham Hung Viet<sup>1,2)</sup>、  
Phan Chung Thi Thu<sup>1,2)</sup>、緒方清仁<sup>3)</sup>、  
Phung Thuy Thi Bick<sup>2)</sup>、Pham An Nhat<sup>2)</sup>、  
Khu Dung Thi Khanh<sup>2)</sup>、市村 宏<sup>1)</sup>

1) 金沢大学医学保健研究域医学系・ウイルス感染症制御学分野

2) ハノイ市国立小児病院

3) ヤクルト本社中央研究所

O30-160 ART中のreservoirであるNKT細胞の制御に関わる $\gamma\delta$ T細胞

松村次郎、近江恭子、大脇敦子、清水真澄、  
新谷英滋、高橋秀実

日本医科大学微生物学・免疫学

O30-161 HIV-1 p24抗原検査におけるヒト異好抗体による疑陽性の解消：カイコで作製したヒト/ラットキメラ抗体を用いたサンドイッチELISA

田中礼子<sup>1,2)</sup>、田中勇悦<sup>1)</sup>

1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座

2) (株)琉球免疫研究所(RIMCO)

■日時：12月4日(木) 9:40～10:30

■会場：第6会場(大阪国際会議場  
12F 1202)

## O31 基礎：アクセサリ-遺伝子

座長 鈴 伸也

(熊本大学 エイズ学研究センター 国際先端医学研究拠点施設)

間 陽子

(独立行政法人 理化学研究所)

O31-162 HIV-1 Nefが抗炎症性マクロファージを選択的に活性化する機構

橋本倫拓、Hesham Nasser、鈴 伸也

熊本大学エイズ学研究センター・  
国際先端医学研究拠点施設

O31-163 NefによるCD4およびCCR5発現抑制機能：生体内での機能的相関と責任領域の解析

豊田真子<sup>1)</sup>、緒方陽子<sup>1)</sup>、  
Mahiti Macdonald<sup>1)</sup>、Pereyra Florencia<sup>2)</sup>、  
Walker Bruce<sup>2)</sup>、Brumme Zabrina<sup>3)</sup>、  
Brockman Mark<sup>3)</sup>、上野貴将<sup>1,4)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター

2) Ragon Institute of MGH, MIT, and Harvard, USA

3) Simon Frazer Univ, Canada

4) 熊本大学国際先端医学研究拠点施設

O31-164 NefはHLA-AとHLA-Bに異なる発現抑制活性を示す

Mahiti Macdonald<sup>1)</sup>、豊田真子<sup>1)</sup>、  
Walker Bruce<sup>2)</sup>、Brumme Zabrina<sup>3)</sup>、  
Brockman Mark<sup>3)</sup>、上野貴将<sup>1,4)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター

2) Ragon Institute of MGH, MIT, and Harvard, USA

3) Simon Frazer Univ, Canada

4) 熊本大学国際先端医学研究拠点

O31-165 霊長類レンチウイルスのNefタンパク質の機能的進化とその意義

中野雄介<sup>1,2)</sup>、吉川祿助<sup>1)</sup>、山田英里<sup>1)</sup>、  
小林朋子<sup>1,3)</sup>、竹内(柴田)潤子<sup>1)</sup>、  
三沢尚子<sup>1)</sup>、佐藤 佳<sup>1)</sup>、小柳義夫<sup>1)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域

2) 熊本大学大学院医学教育部感染防御学分野

3) 東京農工大学農学部畜産学科生産科学分野

# 一般演題 (口演)

## 031-166 Mutational Analysis of HIV-2 Vpx concerning on ability to degrade SAMHD1

Ciftci Halil Ibrahim<sup>1)</sup>、藤野悠那<sup>1)</sup>、古賀涼子<sup>1)</sup>、山本充奈美<sup>1)</sup>、川村宗吾<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>2)</sup>、大塚雅巳<sup>1)</sup>、藤田美歌子<sup>3)</sup>

- 1) 熊本大学大学院 生命科学研究部 生体機能分子合成学分野
- 2) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター
- 3) 熊本大学 薬学部 附属創薬研究センター

■日時：12月4日(木) 16:40～17:40

■会場：第6会場 (大阪国際会議場 12F 1202)

### O32 基礎：宿主因子

座長 徳永研三

(国立感染症研究所 感染病理部)

高折晃史

(京都大学医学研究科 血液・腫瘍内科学)

## 032-167 HIV-1 gp120/CXCR4シグナルが誘導するCCR7受容体多量体化とCCR7リガンド依存的CD4 T細胞遊走の亢進

早坂晴子<sup>1)</sup>、小林大地<sup>1)</sup>、吉村洋美<sup>1)</sup>、中山英美<sup>2)</sup>、塩田達雄<sup>2)</sup>、宮坂昌之<sup>3)</sup>

- 1) 大阪大学医学系研究科/WPI免疫学フロンティア研究センター 免疫制御学
- 2) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野
- 3) 大阪大学未来戦略機構

## 032-168 HIV-1 co-receptor (CXCR4, CCR5) 架橋を介したR5 HIV-1 感染制御

田中勇悦<sup>1)</sup>、田中礼子<sup>1,2)</sup>

- 1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座
- 2) (株)琉球免疫研究所 (RIMCO)

## 032-169 hRAD18によるHIV-1複製の抑制

吉永則良<sup>1)</sup>、松井佑亮<sup>1)</sup>、新堂啓祐<sup>1)</sup>、武田俊一<sup>2)</sup>、高折晃史<sup>1)</sup>

- 1) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科
- 2) 京都大学大学院医学研究科 放射線遺伝学

## 032-170 新規HIV感染制御因子AMPK-RPKによるHIV感染制御機構の解析

武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野

## 032-171 ERK2-HIV capsidタンパク質間相互作用を介する脱殻制御機構と新規抗HIV薬の探索

堂地赳生<sup>1)</sup>、高宗暢暁<sup>3)</sup>、三隅将吾<sup>2)</sup>

- 1) 熊本大学 大学院 薬学教育部 環境分子保健学分野
- 2) 熊本大学 大学院 生命科学研究部 環境分子保健学分野
- 3) 熊本大学イノベーション推進機構

## 032-172 宿主因子GAPDHによるtRNA<sup>Lys3</sup>取込み阻害機構の解析

岸本直樹<sup>1)</sup>、鬼塚彩乃<sup>2)</sup>、伊賀 望<sup>2)</sup>、高宗暢暁<sup>3)</sup>、庄司省三<sup>4)</sup>、三隅将吾<sup>4)</sup>

- 1) 熊本大学大学院 薬学教育部 環境分子保健学分野
- 2) 熊本大学 薬学部 環境分子保健学分野
- 3) 熊本大学 イノベーション推進機構
- 4) 熊本大学大学院 生命科学研究部 環境分子保健学

■日時：12月4日(木) 9:00～10:10

■会場：第7会場 (大阪国際会議場 10F 1008)

### O33 社会：陽性者支援2

座長 伊藤美樹子

(大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻)

青木理恵子

(特定非営利活動法人 CHARM)

## 033-173 HIV陽性男性におけるメンタルヘルスとHIV/AIDSを巡るの孤立状態との関連

戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>1)</sup>、高久陽介<sup>2,3)</sup>、矢島 嵩<sup>2,4)</sup>、板垣貴志<sup>5)</sup>、阿部桜子<sup>6)</sup>、細川陸也<sup>7)</sup>、吉澤繁行<sup>8)</sup>、大木幸子<sup>9)</sup>、若林チヒロ<sup>10)</sup>、片倉直子<sup>11)</sup>、山内麻江<sup>12)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 3) エイズ予防財団
- 4) ぶれいす東京
- 5) アクセライト
- 6) NTT docomo
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市立看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

# 一般演題 (口演)

## 033-174 HIV関連のスティグマが陽性者のメンタルヘルスに与える影響について

阿部桜子<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>2)</sup>、高久陽介<sup>3,4)</sup>、矢島 嵩<sup>3,5)</sup>、板垣貴志<sup>6)</sup>、細川陸也<sup>7)</sup>、吉澤繁行<sup>8)</sup>、大木幸子<sup>9)</sup>、若林チヒロ<sup>10)</sup>、片倉直子<sup>11)</sup>、山内麻江<sup>12)</sup>

- 1) NTT docomo
- 2) 放送大学
- 3) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) エイズ予防財団
- 5) ぶれいす東京
- 6) アクセライト
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

## 033-175 HIV陽性者におけるソーシャルサポートネットワークの実態について

阿部桜子<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>1)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、高久陽介<sup>3,4)</sup>、矢島 嵩<sup>3,5)</sup>、板垣貴志<sup>6)</sup>、細川陸也<sup>7)</sup>、吉澤繁行<sup>8)</sup>、大木幸子<sup>9)</sup>、若林チヒロ<sup>10)</sup>、片倉直子<sup>11)</sup>、山内麻江<sup>12)</sup>

- 1) NTT docomo
- 2) 放送大学
- 3) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) エイズ予防財団
- 5) ぶれいす東京
- 6) アクセライト
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

## 033-176 当院における受診を中断したHIV感染症患者の傾向

中家奈緒美<sup>1,2)</sup>、小山美紀<sup>1)</sup>、木下真里<sup>1)</sup>、塩田ひとみ<sup>1)</sup>、伊藤 紅<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研修センター病院エイズ治療研究開発センター
- 2) エイズ予防財団 リサーチレジデント

## 033-177 初診時より1年間における相談行動と定期受診・抗HIV薬の飲み忘れに関する研究

大谷ありさ<sup>1)</sup>、仲倉高広<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、森田真子<sup>1)</sup>、速見佳子<sup>1)</sup>、鍛冶まどか<sup>1,2)</sup>、宮本哲雄<sup>1,2)</sup>、西川歩美<sup>1,3)</sup>、廣常秀人<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 2) 財団法人エイズ予防財団
- 3) ネットワーク医療と人権

## 033-178 富山県内のHIV患者における食生活・栄養管理の現状と課題

内山志織<sup>1,2)</sup>、鳴河宗聡<sup>3)</sup>、彼谷裕康<sup>4)</sup>、窪田佳代子<sup>5)</sup>、山本善裕<sup>2)</sup>

- 1) 日精協 富山県支部栄養部会
- 2) 魚津緑ヶ丘病院
- 3) 富山大学 感染予防医学講座/感染症科
- 4) 富山県立中央病院
- 5) 富山大学附属病院 薬剤部

## 033-179 (独) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターにおける外国人患者対応—初診時のコミュニケーションについて—

木下真里、池田和子、中家奈緒美、塩田ひとみ、小山美紀、伊藤 紅、杉野祐子、大金美和、塚田訓久、田沼順子、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月4日(木) 10:20～11:20

■会場：第7会場(大阪国際会議場  
10F 1008)

## 034 社会：薬物使用

座長 樽井正義

(慶應義塾大学)

生島 嗣

(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

## 034-180 関西と東海のHIV陽性者における受診前、受診後の物質使用状況の把握

仲倉高広<sup>1)</sup>、宮本哲雄<sup>1)</sup>、鍛冶まどか<sup>1)</sup>、下司有加<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>

- 1) 大阪医療センター臨床心理室
- 2) 大阪医療センター看護部
- 3) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター長

# 一般演題 (口演)

## 034-181 HIV陽性者男性における依存性薬物使用の実態とその関連要因

戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>1)</sup>、高久陽介<sup>2,3)</sup>、  
矢島 嵩<sup>2,4)</sup>、板垣貴志<sup>5)</sup>、阿部桜子<sup>6)</sup>、  
細川陸也<sup>7)</sup>、吉澤繁行<sup>8)</sup>、大木幸子<sup>9)</sup>、  
若林チヒロ<sup>10)</sup>、片倉直子<sup>11)</sup>、山内麻江<sup>12)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 3) エイズ予防財団
- 4) ぶれいす東京
- 5) アクセライト
- 6) NTT docomo
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市立看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

## 034-182 エイズ拠点病院における薬物関連問題の重症度と薬物依存回復支援の可能性

嶋根卓也<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、  
池田和子<sup>3)</sup>、山本政弘<sup>4)</sup>、辻麻理子<sup>4)</sup>、  
長与由紀子<sup>4)</sup>、大久保猛<sup>5)</sup>、太田実男<sup>5)</sup>、  
神田博之<sup>6)</sup>、岡崎重人<sup>7)</sup>、大江昌夫<sup>8)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター
- 2) 都立駒込病院感染症科
- 3) 国立国際医療研究センター病院
- 4) NHO九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
- 5) 京都 DARC
- 6) 横浜 DARC
- 7) 川崎 DARC
- 8) 九州 DARC

## 034-184 HIV陽性MSMにおける薬物使用とその関連要因 ～薬物使用経験のあるHIV陽性者のインタビューを中心に～

野坂祐子<sup>1,2)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、岡本 学<sup>3)</sup>、  
山口正純<sup>4)</sup>、中山雅博<sup>5,6)</sup>、大槻知子<sup>2)</sup>、  
肥田明日香<sup>5)</sup>、白野倫徳<sup>7)</sup>、樽井正義<sup>2)</sup>

- 1) 大阪大学大学院
- 2) ぶれいす東京
- 3) 大阪医療センター
- 4) 白十字総合病院
- 5) アパリアクリニック
- 6) 日本ダルク
- 7) 大阪市立総合医療センター

## 034-185 公立精神科病院におけるHIV感染症症例の検討～精神科医療の側面から～

山田時央<sup>1)</sup>、林 栄治<sup>1)</sup>、高橋克昌<sup>2)</sup>、  
榎山鉄矢<sup>1)</sup>

- 1) 東京都立松沢病院内科
- 2) 東京都立松沢病院精神科

■日時：12月4日(木) 16:40～17:40

■会場：第7会場(大阪国際会議場  
10F 1008)

## 035 社会：予防・教育

座長 金子典代

(名古屋市立大学 看護学部 国際保健看護学)

市川誠一

(名古屋市立大学 看護学部)

## 035-186 エイズ予防指針に基づく国・地方公共団体・医療関係者・NGOの連携に関する意識調査(1) ～地方公共団体アンケートから～

高久陽介<sup>1,2)</sup>、山崎厚司<sup>2)</sup>

1) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

2) 公益財団法人エイズ予防財団

## 035-187 エイズ予防指針に基づく国・地方公共団体・医療関係者・NGOの連携に関する意識調査(2) ～エイズ治療拠点病院アンケートから～

高久陽介<sup>1,2)</sup>、山崎厚司<sup>2)</sup>

1) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

2) 公益財団法人エイズ予防財団

## 035-188 エイズ診療拠点病院全国調査から見た外国人の受療動向と診療体制に関する検討

沢田貴志<sup>1,2)</sup>、山本裕子<sup>2)</sup>、仲尾唯治<sup>3)</sup>

1) 港町診療所

2) シェア=国際保健協力市民の会

3) 山梨学院大学経営情報学部

## 035-189 企業における管理職のHIV/エイズに関する理解の現状について

安井典子、細井舞子、松本珠実、奥町彰礼、  
廣川秀徹、半羽宏之

大阪市保健所感染症対策課

## 035-190 地方において、陽性者支援NPO運営に起きている2つの大きな問題について

矢崎三大

特定非営利活動法人Rinかごしま

# 一般演題 (口演)

## 035-191 大学生を対象としたHIV/エイズに関する知識調査

細井舞子、安井典子、松本珠実、奥町彰礼、  
廣川秀徹、半羽宏之

大阪市保健所感染症対策課

■日時：12月5日(金) 9:00～10:00

■会場：第2会場(大阪国際会議場  
10F 1001)

### O36 臨床：STI・STD

座長 清水恒広

(京都市立病院 感染症科)

澤田暁宏

(兵庫医科大学 血液内科)

## 036-192 当院におけるHIV感染者に合併した神経梅毒の臨床的診断に関する検討

佐々木秀悟<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、  
菅沼明彦<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

## 036-193 当院HIV/AIDS患者における梅毒感染の動向と抗菌化学療法の実際

清水恒広、藤倉裕之、土戸康弘、朽谷健太郎  
京都市立病院感染症科

## 036-194 HIV患者の梅毒治療におけるアモキシシリンの治療効果

谷崎隆太郎<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>2)</sup>、西島 健<sup>2)</sup>、  
古川恵太郎<sup>1)</sup>、柴田 怜<sup>2)</sup>、柳川泰昭<sup>2)</sup>、  
小林泰一郎<sup>2)</sup>、水島大輔<sup>2)</sup>、渡辺恒二<sup>2)</sup>、  
木内 英<sup>2)</sup>、本田元人<sup>2)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、  
塚田訓久<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、  
菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター 総合感染症コース/  
感染症内科
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発  
センター

## 036-195 当院のHIV陽性者におけるHBV共感染の現状

渡辺崇夫<sup>1)</sup>、高田清式<sup>2)</sup>、徳本良雄<sup>1)</sup>、  
末盛浩一郎<sup>3)</sup>、村上雄一<sup>3)</sup>、日浅陽一<sup>1)</sup>

- 1) 愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
- 3) 愛媛大学大学院 血液・免疫・感染症内科学

## 036-196 HIV感染患者における赤痢アメーバ潜伏感染についての検討

渡辺恒二<sup>1)</sup>、永田尚義<sup>2)</sup>、柳川泰昭<sup>1)</sup>、  
小林泰一郎<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、  
青木孝弘<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、本田元人<sup>1)</sup>、  
田沼順子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、  
照屋勝治<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター  
エイズ治療研究開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター消化器内科

## 036-197 HIV合併アメーバ性肝膿瘍の発症リスクとしてのHLA対立遺伝子の解析

小林泰一郎、渡辺恒二、古川恵太郎、  
柴田 怜、柳川泰昭、谷崎隆太郎、水島大輔、  
西島 健、青木孝弘、木内 英、本田元人、  
田沼順子、照屋勝治、塚田訓久、瀧永博之、  
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月5日(金) 10:10～11:10

■会場：第2会場(大阪国際会議場  
10F 1001)

### O37 臨床：HAND1

座長 菊池 嘉

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

辻麻理子

(独立行政法人国立病院機構 九州医療センター)

## 037-198 HIV感染症患者の認知機能低下と鑑別診断

辻麻理子<sup>1)</sup>、阪木淳子<sup>1,2)</sup>、郭 悠<sup>1)</sup>、  
曾我真千恵<sup>3)</sup>、城崎真弓<sup>1)</sup>、長與由紀子<sup>1)</sup>、  
高濱宗一郎<sup>1)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター  
AIDS/HIV総合治療センター
- 2) (公財) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 福岡県保健医療介護部

## 037-199 HIV感染症患者の認知機能の低下と鑑別診断—抑うつ傾向との関連および臨床経過—

辻麻理子<sup>1)</sup>、阪木淳子<sup>1,2)</sup>、郭 悠<sup>1)</sup>、  
曾我真千恵<sup>3)</sup>、城崎真弓<sup>1)</sup>、長與由紀子<sup>1)</sup>、  
高濱宗一郎<sup>1)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター  
AIDS/HIV総合治療センター
- 2) (公財) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 福岡県保健医療介護部